

# 教育リソースの発展と利活用Ⅱ

～デジタルアーカイブとしての発展～

櫛 彩見  
齋藤陽子  
林 知代

## 目 次

1. 教育リソースの発展と利活用Ⅱ	1
1-2. 地域資料・オーラルヒストリー	7
1-2-1. 地域資料のデジタルアーカイブ	7
1-2-2. 木田宏オーラルヒストリーと関連資料	29
1-2-3. 地域資料のオーラルヒストリー	38
1-2-4. 過去の教育実践資料	44
2. 教育リソースのデジタル記録・管理	49
2-1. 記録の方法	50
2-2. 選定評価項目	55
2-3. 権利処理（権利と保管）	63
2-3-1. 著作権	63
2-3-2. プライバシー（個人情報保護法）	65
2-3-3. 肖像権（保護者の許可）	67
2-3-4. 実施上の注意	68
2-4. メタデータの構成	76
2-4-1. 管理・流通・検索のためのメタデータの構成	77
2-5. 記録から管理・活用のプロセス（処理）	82
2-6. 教育資料の管理とハイブリッド提供・利用	86
2-6-1. 入力、管理、出力のメディアの関係	86
2-6-2. 学びに必要なメディアの選択・利用	86
3. 教育リソースデジタルアーカイブの利活用	87
3-1. 提示・提供としての利活用	87
3-1-1. 課題の解決	87
3-1-2. 教育創造（サイクル）…知の増殖型サイクル	88
3-1-3. 知的活動…AI、生成AI、ロボット、メタバース等	88

3-2. 提示・提供	89
3-2-1. 単体表示・最もよく使われる方法	89
3-2-2. 集合表示	90
3-2-3. 構成表示	97
3-3. 課題の解決のための情報提供	110
3-3-1. 利活用を促すための処理の方法（概要）	111
3-3-2. 提供資料（手引書等）と基礎データ	112
3-3-3. 課題解決のための手引き書等を用いた情報提供の具体例	113
3-4. 知の増殖型サイクル（知的創造サイクル）	116
3-4-1. 知を増やすとは	116
3-4-2. 知の増殖型サイクル	119
3-5. 知的活動（操作）	124
4. 教育実践での利活用、評価、還元情報	130
4-1-1. 教師のための利活用（沖縄での学習指導力、学力の向上での活用）	131
4-1-2. 教育リソースを用いた学び	143
4-2. 評価の方法	157
4-2-1. デジタルコンテンツの利活用にあたっての評価	157
4-2-2. コンテンツ構成上の評価	157
4-2-3. 利活用での実態状況の評価	159
4-2-4. 継続方式	162
4-2-5. 提示資料による理解状態の調査	164
4-2-6. 意識調査	164
4-2-7. 課題解決、知的創造サイクル等の評価・成果の評価	165
4-3. 還元情報（フィードバック）	166
4-3-1. 初期の評価とフィードバック（改善）	166
4-3-2. 知的創造サイクルとしてのフィードバック	168
4-3-3. 還元情報の事例	170
4-3-4. フィードバックの役割	176
4-3-5. 還元情報を用いた改善の実践例	179

5. 教育リソースデジタルアーカイブとデジタル文化創造	185
5-2. 教育リソースデジタルアーカイブ(DA)の課題	193
5-3. CAI、教育用ロボットの今後の発展と教育リソース	202
5-3-1. 個別化学習の自動化のレベル	202
5-3-2. 多様な教育ロボットとしての活用	204
5-4. 社会の変化に対応した教育と教育リソース	207
5-4-1. 多様な学びに必要な教育リソース	208
5-4-2. 学習資料の提供・・・自分に適する資料	209
5-4-3. 主体的な学習を支援する教育リソース開発の必要性	211

## 参考資料